

三重県内の治安情勢（令和2年上半期・暫定値）

1 「刑法犯」の認知・検挙状況

前年同期と比べ、認知件数は735件（-14.7%）減少した。

	認知件数	検挙件数	検挙人員	検挙率
令和2年1～6月	4,266	1,619	839	38.0%
令和元年1～6月	5,001	1,750	918	35.0%
増減数	-735	-131	-79	
増減率	-14.7%	-7.5%	-8.6%	+3.0P

2 「重要犯罪」の認知・検挙状況

前年同期と比べ、認知件数の総数は微減し、検挙率は5.8ポイント上昇した。

		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取・誘拐	強制わいせつ
令和2年1～6月	認知件数	34	7	4	4	7	0	12
	検挙件数	29	5	7	3	5	0	9
	検挙人員	28	6	6	3	5	0	8
	検挙率	85.3%	71.4%	175.0%	75.0%	71.4%	—	75.0%
令和元年1～6月	認知件数	39	3	5	5	9	0	17
	検挙件数	31	5	5	4	4	0	13
	検挙人員	35	5	9	4	5	0	12
	検挙率	79.5%	166.7%	100.0%	80.0%	44.4%	—	76.5%
検挙率の増減		+5.8P	-95.3P	+75.0P	-5.0P	+27.0P	—	-1.5P

3 「重要窃盗犯」の認知・検挙状況

前年同期と比べ、認知件数の総数はおおむね横ばいだが、検挙率は11.6ポイント低下した。

		総数	侵入盗	自動車盗	ひったくり	すり
令和2年1～6月	認知件数	608	568	33	6	1
	検挙件数	291	272	18	1	0
	検挙人員	30	26	3	1	0
	検挙率	47.9%	47.9%	54.5%	16.7%	%
令和元年1～6月	認知件数	610	525	82	2	1
	検挙件数	363	323	37	2	1
	検挙人員	46	31	13	2	0
	検挙率	59.5%	61.5%	45.1%	100.0%	100.0%
検挙率の増減		-11.6%	-13.6%	+9.4P	-83.3%	-100.0%

4 「特殊詐欺」の発生状況

前年同期と比べ、認知件数は22件増加し、被害額は約1億2,050万円増加した。

		総数	オレオレ詐欺	預貯金詐欺	架空料金請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	左記5類型以外	キャッシュカード詐欺
令和2年1～6月	件数	56	0	26	14	5	1	0	10
	被害額(万円)	18,440	0	4,060	12,100	1,070	100	0	1,120
		総数	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金等詐欺	左記4類型以外	特殊詐欺(窃盗)	
令和元年1～6月	件数	34	11	14	2	5	0	2	
	被害額(万円)	6,380	920	4,190	520	450	0	310	
		総数	オレオレ詐欺+預貯金詐欺	架空(料金)請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金(等)詐欺	左記区分以外	キャッシュカード詐欺(特殊詐欺(窃盗))	
増減数	件数	+22	+15	±0	+3	-4	±0	+8	
	被害額(万円)	+12,050	+3,440	+7,910	+550	-350	±0	+810	

※ 令和元年当時の特殊詐欺の総数は、当時の定義上、職権盗などの特殊詐欺と同視し得る窃盗（上記表において特殊詐欺（窃盗）と表示）は特殊詐欺に含まれないので、発生件数は32件、被害額は約6,080万円である。

※ 預貯金詐欺は、令和元年は「オレオレ詐欺」の手法類型に「警察官等を騙りキャッシュカード等をだましとる手法」として含有されていたことから、令和元年は「オレオレ詐欺」として一括計上している。

※ 預貯金詐欺の被害額は、キャッシュカードが被害品であった場合のATM等からの引出し額を含む。

※ 各類型別の被害額と合計額をそれぞれ別個に四捨五入して計算しているため、金額に若干の誤差が生じている。

5 「暴力団・薬物事犯」の検挙状況

前年同期と比べ、暴力団検挙人員は25人（-36.8%）減少した。

前年同期と比べ、薬物事犯検挙人員は11人（25.0%）増加した。

	暴力団検挙人員			薬物事犯検挙人員			
		刑法犯	特別法犯		覚醒剤	大麻	その他薬物
令和2年1～6月	43	30	13	55	37	16	2
令和元年1～6月	68	51	17	44	31	13	0
増減数	-25	-21	-4	+11	+6	+3	+2
増減率	-36.8%	-41.2%	-23.5%	+25.0%	+19.4%	+23.1%	—%

6 「来日外国人犯罪」の検挙状況

前年同期と比べ、検挙件数の総数は37件（50.0%）増加した。

	検挙件数			検挙人員		
		刑法犯	特別法犯		刑法犯	特別法犯
令和2年1～6月	111	61	50	55	27	38
令和元年1～6月	74	44	30	57	32	25
増減数	+37	+17	+20	-2	-5	+3
増減率	+50.0%	+38.6%	+66.7%	-3.5%	-15.6%	+12.0%

7 「非行少年等」の検挙・補導状況

(1) 非行少年の検挙・補導人員

前年同期と比べ、非行少年の総数は微減した。

	総数	検挙・補導人員		
		刑法犯少年	特別法犯少年	ぐ犯少年
令和2年1～6月	118	97	21	0
令和元年1～6月	122	104	18	0
増減数	-4	-7	+3	±0
増減率	-3.3%	-6.7%	+16.7%	±0%

※ 非行少年とは、犯罪又は触法行為若しくはぐ犯行為により検挙又は補導された少年をいう。

(2) 不良行為少年の補導人員

前年同期と比べ、不良行為少年は117人（13.5%）増加した。

令和2年1～6月	982
令和元年1～6月	865
増減数	+117
増減率	+13.5%

※ 不良行為少年とは、喫煙、飲酒、深夜はいかい等により補導された少年をいう。

8 「交通事故」の発生状況

前年同期と比べ、人身事故件数及び負傷者数は減少したが、死者数は8人増加した。

	人身事故件数	死者数	負傷者数	
			重傷	軽傷
令和2年1～6月	1,488	42	1,889	1,646
令和元年1～6月	1,862	34	2,414	2,122
増減数	-374	+8	-525	-476
増減率	-20.1%	+23.5%	-21.7%	-22.4%